



廿日市市立佐伯中学校 令和3年度

【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標：「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」「みんなの笑顔があふれる居心地のいい」学校づくり！

1月号 (No.15)

令和4年

1月20日 (木)

アーチェリー 河田悠希選手の講演を聴いて

12月17日(金)本校で、東京オリンピック2020・アーチェリー団体男子で銅メダルを獲得した河田悠希選手の講演会が行われました。この講演会は、河田選手が母校である佐伯中を表敬訪問し、後輩にエールを送るために企画されたものです。感染予防のため1・2年生を対象とした講演会となりましたが、テレビで観る河田選手が実際に来校され、目の前で熱く語る姿に、生徒のみなさんは大きな感動を得たようです。講演の途中からは体育館のフロアに降りて、生徒一人一人に本物のメダルを触らせてくれる企画もあり、一生の思い出となりました。講演を聴くことができなかった3年生には、講演後、3年生の各教室を訪問し、受験生へのエールを送ったり、メダルに触れたりするなどの心遣いもしていただきました。

僕は、河田選手がおっしゃった「目標」と「あきらめない」という言葉が印象に残りました。僕は、まだ部活などで目標を持ってないし、あきらめることもあるけど、今日のお話を聴いて、何か小さいことでも目標を持って、少しでも確率があるなら、何事もあきらめないようにしていきたいと思います。(1年)

目標と夢には、違いがあることが分かりました。絶対達成しなければならない目標を作らないといけない、と思いました。作った後に達成するためにどうすればよいか細かく決めていくことが、大切なことが分かりました。決めておけば、何をするのか迷わなくていいので、実践していこうと思います。途中であきらめてしまうと負けてしまうから、最後まであきらめずにやり切ることが、大切なことが分かりました。いつも途中であきらめてしまうけど、どんなときでも可能性があると思っていて探していこうと思いました。(1年)

今日は、2つのことを学びました。1つ目は、最後まであきらめないことです。河田選手の話聴いて、あきらめたら目標が達成しないかもしれないから、ちゃんと最後まであきらめずに頑張ろうと思いました。2つ目は、感謝の気持ちを忘れないことです。日々安全に生活できるのは、先生や家族、友達が支えてくれていることを改めて感じました。何かしてもらったときは「ありがとう」、悪いことをしてしまったら「ごめんなさい」といい、感謝の気持ちを忘れずに生活しようと思いました。最近アーチェリー部に入部したばかりで、分からないことがたくさんあって不安だけど、今日河田選手に教わったことを頭に入れて頑張ろうと思いました。(1年)



河田選手の人間性に感動しました！

今日は、本当に貴重な話を聴くことができよかったです。私は今日の話聴いて、夢と目標の違いを学ぶことができたので、これからは目標を持つと思いました。それから、あきらめずに最後まで頑張る大切さを改めて考えることができました。スポーツ・勉強・日常生活であきらめそうになったり、くじけそうになったりすることがあるけど、今度からは頑張りたいと思いました。オリンピックのこともたくさん聴いて、とても嬉しかったです。メダルは貴重なものなのに、私たちに触れさせてくれたりして、本当に心が広く、河田選手の人間性に感動しました。そんな河田選手の後輩になれるなんて、本当にラッキーで恵まれていると思いました！私も河田選手のような人になれるように、目標を持ち最後まであきらめず前を向いて頑張っていきたいと思いました。(1年)

「自分の可能性に挑戦しよう！」河田悠希選手 語録

今日の講演で僕が学んだことはたくさんあったけど、主に3つのことが心に残りました。その中でも特に心に残ったのは「最後まであきらめない」ということです。その他にも「感謝の気持ちを持つ」ということ、そして「何かをするときには目標を立てる」ということが心に残りました。僕は可能性を探す前にあきらめてしまうので、これからはまず、可能性を探そうとおもいました。また、本番の試合でもよく緊張するので、次の試合では今日学んだこと（自分よりも緊張している人を探すと緊張が和らぐということ）をやってみようと思いました。（1年）

今日の講演で一番心に残った話は、勝つために目標を作り、その目標を達成するためにどうすればいいか考えるという話です。河田選手がそうだったように、何かをするためには日頃から積み重ねなければいけないと思いました。これからも頑張ってください。（2年）

私は色々なことをするとき、目標を持ってやっていなかったのですが、今後は目標を持って挑戦しようと思いました。私は負けそうなとき、すぐあきらめていたけど、今日、最後まであきらめずにやることを教えてもらったので、次からは何があってもあきらめず、可能性がないかちょっとでも探そうと思いました。私はすぐ緊張してしまうので、自分よりも緊張している人を探そうと思いました。メダルを見せてもらって本当にすごいなと思いました。（2年）

今日の講演で学んだことは、あきらめない心が必要ということです。自分は何に対しても、つまずいてしまったら、深く考えずにあきらめていました。でも、河田選手の話で、どんな時でも絶対に可能性があることが分かりました。だから、どんなにつまずいたり、くじけたりしても少ない可能性をしっかりと見つけ、あきらめずに進んでいこうと思いました。そして、河田選手がおっしゃっていた「周りの人への感謝の気持ちを忘れず」ということを学んだので、今日は早く帰って家族に「ありがとう」という気持ちを伝えたいと思いました。（2年）

今日はお忙しい中、私たちのために講演会を開いてくださりありがとうございました。私も一度アーチェリーを体験したことがあります。すごく難しく、どうしてそこまで上手になれるんだろうと思っていました。けれど、今日お話を聞いて、何となくだけど分かったような気がします。河田選手は、小さな頃からアーチェリーの楽しさを知り、夢を叶えるために目標を立て、ダメだった所を反省し、前を向いて頑張ったということが分かりました。私も、将来の夢を3ヶ月前に持ちました。そのためにはどうしたらいいのか考えていたけど、今日の話聞いて目標を立てよう決めました。私も河田選手のように、自分の夢を叶えられるように頑張ります！！（2年）

河田悠希選手に教えてもらったこと

「夢や目標を持つこと」「感謝の気持ちを持つこと」「最後まであきらめないこと」

河田悠希選手を囲んで、各学年で記念写真を撮りました！



1年生



2年生

※ 裏面に新聞記事があります。